

自分ごと化会議

私に関係ある？ あり！

太田市自分ごと化会議 2019

第1回会議 議事概要

第1分科会

日 時	令和元年8月17日(土) 15:00~17:00
会 場	市役所本庁舎9A会議室
コーディネーター	田中俊

コ) コーディネーター、委) 委員、市) 市職員

議事概要

■会議の進め方について

コ) 「行政情報のあり方」がテーマとなっているが、行政が情報を出すことだけでなく、市民の立場からどういうことに関心があって、何が知りたいのか、市民の立場を中心に話し合っていきたい。

今回は自己紹介を中心に簡単な意見交換を行う。

第2回は、個人・地域・行政にどのような課題があるのかを議論する。

第3回は、第2回で話し合った課題について、解決策を議論する。

最終回の第4回でこれまでの意見を集約する。

■備考

第1回は自己紹介を中心に進行。

第2分科会

日 時	令和元年8月17日(土) 15:00~17:00
会 場	市役所本庁舎9B会議室
コーディネーター	高澤良英

コ) コーディネーター、委) 委員、市) 市職員

議事概要

■会議の進め方について

コ) 自分ごと化会議を知っていた人はいるか。知っている人は挙手してほしい。
(挙手なし)

コ) 今日は時間をかけて課題を中心に出示していく。最終回には改善策を答えから行きがちだが、急ぎすぎると大事なものが見えなくなる。何が問題なのかを時間をかけて話し合いたい。

人と人が話すことには、対話、会話、議論がある。会話は責任があいまい。議論はAかBか決めるもの。対話はその中間で自由な発想やひらめきがある考えるための一つの手法。

今回の会議では「対話」をする。皆さんへのお願いは2点、一言でも多く話してもらうため発言はコンパクトに、色々な考えがあるので他の人の発言を否定しないこととしたい。

■日常生活における情報の取得・発信で困ったことについて

コ) まずは、皆さんの日常の中で困った経験などあれば紹介してほしい。

委) 火災などはすぐにメールが来て知ることができるが、事件などは近所で起こってもすぐに知ることができない。

市) メールやラジオなどで情報を流している。

委) 熊谷では迷子や徘徊などの情報も流しているようだ。

コ) 市ごとの裁量だが、どこまで流すかという問題もある。

委) 不審者情報など学校からメールで流れてくるが、見てもどうしたら良いかわからない。かえって心配するだけ。

コ) 受け止め方の問題か。そういった情報が入ったら皆さんはどうするか。

委) 周辺に行かないように言う。

委) 鍵を閉める。

委) 複数で帰らせる。

- 委) 太田小は通学班がないと聞いた。そもそも個人が常に気をつけるべきことかとも思う。不審者はいるものという前提で家庭内で教育することで対応できるのではないか。
- 委) 防犯カメラは交差点についていないのか。
- 市) 全てにはついていない。交通量や危険個所を優先して順次整備している。
- 委) 青パトはよく見かけるが無音で通り抜けるだけ。税金の無駄ではないか。
- 委) 地区防犯委員が運転する場合は、時間を決めてテープを流しながら走っている。
- 委) ボランティア活動をしているが、発信する場がない。口コミだけ。
- コ) 太田市の場合は、広報紙は行政情報のみ掲載しているのだろうか。
- 市) 基本そうだが「掲示板コーナー」には条件が合えばイベントの告知など掲載できる。募集などはできない。
- 委) ボランティア団体でも怪しい団体だと疑われてしまうケースも多い。
- 市) 道路の穴などを発見した際に、担当課へ連絡することになっているがなかなかできない。
- 委) 市へ連絡する際は区長を通すのではないか。
- 市) ケースによる。道路陥没の場合は個人で大丈夫。
- コ) 緊急時は個人でも大丈夫。陳情などは区長を通してというように2つのケースがあるのではないか。
- 委) どこへ連絡したら良いのかわからない。知る人ぞ知る、といった感じになってしまっている。
- 委) ゴミ出しのルールが、外国の方に伝わっていないと思う。
どう伝えれば良いのだろうか。
- 委) 手術をすることになったが、高額医療助成など手続きで市役所のどこに行ってもいいか、何を持って行ったら良いかわからない。教えてもらって見ながら回った。
- 委) 防災無線が聞こえづらい。
- 委) 市から来る情報はわかりにくい言葉が多い。結論まで時間がかかる。
もっと集約して欲しい。

■聴き手としての行政について

- コ) 次に皆さんが行政に対してお願いなどしてもうまくいかなかったことを紹介してほしい。
- 委) 信号を付けた方が良い場所があり相談したが、道路幅か何かの関係で断られてしまった。できない理由が良くわからなかったので、わかりやすく伝えてほしかった。
- 委) 行政が断るときの理由はわかりにくい。
- 委) 「止まれ」の路線表示が消えかかっている。困った。次にどう行動して良いかわからない。ネットで調べればわかることもあるが、すぐにはわからない。
- 市) 基本市役所、各地区行政センターでも良い。
- 委) 誰かが通報するだろう、という考えになってしまう。
- コ) そういったことが他人ごと、自分ごとといったところだろうか。
- コ) 皆さんは市役所に気軽に連絡できるだろうか。
- 委) 聞けば丁寧に対応してくれるが、専門的な知識が必要になるものなどの場合、担当者が出てくるまで時間がかかるケースもある。
- コ) 例えば、子ども関係の情報はどうか。
- 委) 子育てに関する情報は児童館で得られていたが、保育園に行くようになってからは得にくくなった。ネットをしないので、チラシなど児童館レベルでもらえると良いのだが。
- 市) 行政センターだよりは回覧、各戸配付などしている。
- 委) うちの地区は回っていないと思う。
- コ) 高齢者関係の情報はどうか。
- 委) 区長からが多いかな。長寿祝い金やイベントなど。
- 委) 介護認定について、書類も多くて大変だった。個人では受けきれない。また、認定までちょっと時間がかかるのだが、どれくらいかかるのかなどアナウンスがなかった。行政サイドはいつものことという意識なのかもしれないが、こちらは初めてなので不安な気持ちになった。
- 委) 介護認定の件は、身内がいつ突然なるかわからない。市役所に冊子もあるが度合いによって違う。
- 委) 家族が突然なるとショックが大きくてどうして良いかわからなくなる。もう少し寄り添ってもらえると良いかなと思う。

- 委) 困ったときにどこに電話したら良いかわからない。
そもそも相談して良いのかわからない。
忙しいのに悪いか、などと避けてしまうこともある。
- コ) 先入観から市役所を市民の方から避けてしまうこともあるようだ。今日のような会議が市職員と住民との対話の場となり、色々なことに気づき始めればと思う。